

情報通信審議会 情報通信技術分科会
携帯電話等高度化委員会
第 4 世代移動通信システム作業班（第 1 回） 議事要旨（案）

1 日時

平成24年 6 月 6 日(水) 15:00~16:35

2 場所

中央合同庁舎第 2 号館(総務省) 8 階 第 1 特別会議室

3 出席者（敬称略）

作業班構成員：

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 若尾 正義 | (一社)電波産業会 |
| 吉村 直子 | (独)情報通信研究機構 |
| 石田 和人 | クアルコムジャパン(株) (代理：ゲオルギウ ヴァレンティン) |
| 大川 祐二 | 日本放送協会 |
| 長内 忍 | (株)TBSラジオ&コミュニケーションズ |
| 川島 修 | (株)エフエム東京 |
| 河野 宇博 | スカパーJ S A T(株) (代理：野田 俊介) |
| 菅田 明則 | K D D I(株) (代理：小田 成司) |
| 高田 仁 | (一社)日本民間放送連盟 |
| 高橋 政博 | (株)テレビ朝日 |
| 田中 伸一 | ソフトバンクモバイル(株) |
| 谷口 正樹 | 富士通(株) (代理：皆瀬 修) |
| 中川 永伸 | (財)テレコムエンジニアリングセンター |
| 中津川 征士 | 日本電信電話(株) |
| 中村 光行 | 日本電気(株) |
| 日高 秀樹 | 京セラ(株) (代理：柏瀬 薦) |
| 古川 憲志 | (株)N T T ドコモ |
| 三浦 望 | パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株) (代理：上杉 充) |
| 諸橋 知雄 | イー・アクセス(株) |
| 山崎 潤 | ノキアシーメンスネットワークス(株) |
| 山本 裕彦 | シャープ(株) |
| 要海 敏和 | U Q コミュニケーションズ(株) |

作業班に必要と認められる者

安部田 貞行 (株)N T T ドコモ

事務局：

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長 田原、同課 課長補佐 中越、同課
第二技術係長 松元、同課 第二技術係 小池

4 配布資料

| 資料番号 | 配布資料 | 提出元 |
|-----------|-----------------------------|--------------|
| 資料4G移 1-1 | 情報通信審議会 情報通信技術分科会(第 86 回)資料 | 事務局 |
| 資料4G移 1-2 | 携帯電話等高度化委員会 運営方針 | 事務局 |
| 資料4G移 1-3 | 第4世代移動通信システム作業班 構成員 | 事務局 |
| 資料4G移 1-4 | 第4世代移動通信システム作業班 運営方針(案) | 事務局 |
| 資料4G移 1-5 | 調査の進め方 | 事務局 |
| 資料4G移 1-6 | アドホックグループの設置について(案) | 事務局 |
| 資料4G移 1-7 | 当面の進め方について(案) | 事務局 |
| 資料4G移 1-8 | LTE-Advanced の導入に向けて | NTTドコモ |
| 資料4G移 1-9 | Wireless MAN-Advanced について | UQコミュニケーションズ |
| 参考 | 携帯電話等高度化委員会 構成員 | 事務局 |

5 議事概要

(1) 情報通信技術分科会での審議開始について

事務局から、資料4G移 1-1、資料4G移 1-2 及び資料4G移 1-3に基づき、情報通信技術分科会での審議開始についての説明があった。

(2) 作業班の運営方針について

事務局から、資料4G移 1-4に基づき、作業班の運営方針(案)についての説明があり、その後承認された。

(3) 調査の進め方について

事務局から、資料4G移 1-5に基づき、調査の進め方についての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

山崎構成員：検討対象の周波数について、3.4-3.6GHz以外の周波数の調査は、3.4-3.6GHzの検討が終わった後になるのか。

事務局：当面の検討対象として3.4-3.6GHzの検討をすることを考えている。他の帯域については議論の経過を踏まえ、随時検討帯域の追加を行っていきたい。

(4) アドホックグループの設置について

事務局から、資料4G移 1-6に基づき、アドホックグループの設置についての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

大川構成員：アドホックグループの調査・検討内容で5項目の提示があるが、アドホックグループはいくつ設置されるのか。

事務局：アドホックグループとしては一つの設置を考えている。実際の干渉検討を行う時には、アドホックグループの構成員同士で詳細な検討を進めていただき、その後アドホックグループとして取りまとめ、作業班に検討結果を報告することを考えている。

以上の質疑応答の後、アドホックグループの設置が承認され、参加希望者は6月13日(水)までに事務局宛て連絡することとなった。

(5) 当面の進め方について

事務局から、資料4G移 1-7に基づき、当面の進め方(案)についての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

柏瀬(日高構成員)代理：プレゼンテーションの時間やボリュームほどの程度を想定しているか。

事務局：1社あたり10分~15分程度を想定している。

以上の質疑応答の後、当面の進め方が承認された。

(6) 第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)の動向等について

ア LTE-Advancedについて

古川構成員から、資料4G移1-8に基づき、LTE-Advancedの動向等について説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

若尾主任：LTE-Advancedのサポートされている帯域幅及びMIMO数のうち、LTEと重複しているのはどの範囲か。また、漏えい電力等の他のパラメータは同等か。

古川構成員：帯域幅20MHz、4×4 MIMOまでが同じであり、その他のパラメータも同じとなる。既存帯域では、20MHz、4×4 MIMOにて干渉検討済みである。

イ Wireless MAN-Advancedについて

要海構成員から、資料4G移1-9に基づき、Wireless MAN-Advancedの動向等について説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

若尾主任：IEEE802.16.1についてはどの団体で規格化されているのか。

要海構成員：IEEEにて行われている。

柏瀬（日高構成員）代理：今後の干渉検討の進め方についての方針はあるのか。

要海構成員：特にはない。今後、アドホックグループで検討していくものと考えている。

若尾主任：既存の携帯電話帯域において、WiMAXの干渉検討を実施したことはあるか。

要海構成員：700/900MHz帯を使用する移動通信システムの干渉検討の際に、LTEに包含される形で実施している。

(7) その他

事務局から、次回作業班については7月上旬から中旬頃に開催予定であるが、詳細については主任と相談の上、別途連絡されることが連絡された。

以上